

2017.2.3 (金)
パシフィコ横浜

参加無料

第16回 国土セイフティネットシンポジウム 「自然災害に立ち向かうSIP」 世界一の防災技術をどう活かすか

多発する自然災害、毎年多くの自然災害に見舞われる国土、防災は国民の大きなテーマである。強い国土には、国民の防災意識の向上が不可欠であり、我が国の防災研究の最前線であるSIP（戦略的イノベーション創造プログラム[※]）は国民への幅広い防災力向上に向けた重要なテーマである。本シンポジウムでは、昨今の自然災害における研究開発の活用および現場の取組みについて報告する。

※戦略的イノベーション創造プログラムとは、社会的に不可欠で、日本の経済・産業競争力にとって必要な課題に府省・分野横断的に取り組むものです。防災分野では、防災科学技術研究所を中心にレジリエントな防災・減災機能の強化を進めています。

日時：2017年2月3日（金）13：00～17：00

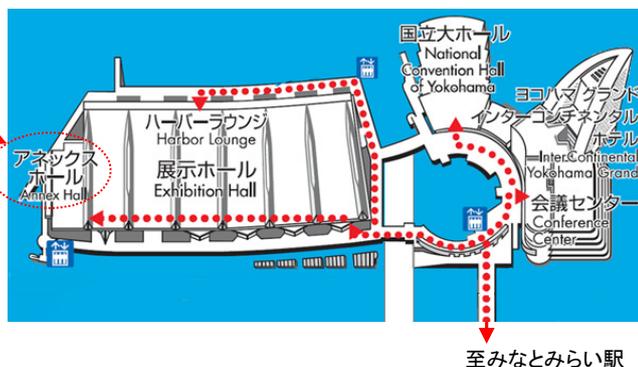
会場：パシフィコ横浜 アネックスホール I・J 会場

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩5分

JR京浜東北線など「桜木町駅」徒歩12分

JR東海道線など「横浜駅」タクシー10分



主催：国立研究開発法人防災科学技術研究所

特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会（REIC）

後援：内閣府、文部科学省、公益財団法人地震予知総合研究振興会、東京商工会議所、一般社団法人東北地域づくり協会、特定非営利活動法人日本防災士会

定員：200名（参加費無料）

プログラム

- 開会挨拶 林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
- 来賓挨拶 松室寛治 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 防災科学技術推進室 室長
西田浩之 内閣府 政策統括官 科学技術イノベーション担当 参事官（社会安全担当）

■ 基調講演 13:20～14:20

熊本地震の教訓 ～想定される首都直下地震への備え～

平田 直 東京大学地震研究所 地震予知研究センター センター長・教授

2016年4月に発生した熊本地震によって100人超が犠牲になり、8千棟超の住家が全壊した。熊本を含む九州では、これまで大きな地震が発生したにも関わらず、地震への備えが必ずしも十分でなかった。このことは、日本の各地でも繰り返される恐れがある。災害を軽減するために何に留意する必要があるかを考えてみる。



熊本地震に活きたSIPの成果



藤原 広行 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター センター長

SIPレジリエント防災・減災機能の強化の一環として研究開発が進められているリアルタイム地震被害推定システムにより、熊本地震発生後約10分で揺れによる建物被害の分布図が得られた。これら情報は、併せて開発が進められている災害情報の共有・利活用システムを通して災害対応に活用された。さらに、実被害のデータの分析も進んでおり、システムの機能の改良が行われている。こうした研究開発の現状について報告する。



臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長

総合科学技術・イノベーション会議が推進する「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の1つ、「レジリエントな防災・減災機能の強化」の中で、「府省庁連携防災情報共有システム（SIP4D）とその利活用技術の研究開発」を担当している。ここでは、熊本地震においてSIP4Dが果たした役割・成果について報告する。

豪雨災害へのSIPの活用と課題



岩波 越 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター 研究統括

SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」課題の一研究開発項目である「豪雨・竜巻予測技術の研究開発」における、観測技術の府省連携、民間気象事業者との共同で実現した「10分先の大雨情報」社会実験や、1時間先の局地的大雨の予測等を目指したリアルタイム予測システム開発の実施状況と課題について報告する。

東京ガスの地震防災対策



小山 高寛 東京ガス株式会社 防災・供給部 防災グループ グループマネージャー

東京ガスでは予防対策、緊急対策、復旧対策の3本柱を軸とした地震防災対策を推進し、地震災害時の事業継続性の確保への取り組みを行っている。特に、供給エリア内に約4000基と超高密度で設置した地震センサーを用いた地震防災システムSUPREMEを開発した。当システムは、これら地震センサーによる揺れの情報を地震発災後およそ5分で収集し、地震発災直後の2次災害防止の保安措置や早期のガス供給再開などに活用する。本講演では、地震防災システムSUPREMEが東日本大震災において観測した地震情報を交えながら紹介する。

《セミナーお申込み》 第21回「震災対策技術展 横浜」のホームページよりお申込みください。

<http://www.shinsaexpo.com/yokohama/seminar/>

※ セミナー当日、諸般の事情により演題の変更ならびに開始・終了時間の変更がございますこと、あらかじめご了承頂きますようお願いいたします。

《お問合せ》 リアルタイム地震・防災情報利用協議会（REIC）事務局

TEL: 03-5829-6368 E-mail: reic_jimukyoku0305@eq7realtime.org